



有限会社 堀江薬局

COMPANY PROFILE

【設立】大正13年【資本金】300万円【本社】島根県出雲市大社町杵築南神門通り1370-2
【従業員数】14名【事業内容】医薬品、健康食品、化粧品、漢方薬のカウンセリング販売
【電話】0853-53-2226【HP】http://www.funin-kanpo.com/

我が社の自慢

自分が幸せじゃないと、人を幸せにできません。そういう意味でも、楽しい職場環境と、それを円滑に実現していくための人間関係をしっかりと築き上げていると思います。すばらしいスタッフが揃っていることが一番の自慢です。

こんな人に来て欲しい!

相手に対して共感のできる、親身になって話し相手のできる人でしょうか。ですから、人生経験のある程度積み重ねた人じゃないと務まらない仕事です。自然体でポジティブな考え方ができて、知識や知恵を増やすことが好きな人だと良いですね。



信頼のカウンセリングで幸せを提供する 旧来のイメージを打ち破った漢方薬局

カフェのような開放的で明るい店内が印象的な「有限会社 堀江薬局」は、子宝(不妊)やダイエット等のカウンセリングで、注目を集める漢方薬専門店。
大正13年創業という老舗薬局が、現在のスタイルに刷新したのが10年前。長びく不況で業績が悪化し、4代目となる堀江昭佳氏が立て直したため専務に就任してからのこと。
当初、悩み相談全般でスタートするが、子宝、ダイエット等の女性向けカウンセリングが評判を呼び、やがて堀江薬局の看板になっていく。
「商品の並ばない店内に戸惑われる方もおられますが、まずお客様の悩みありきで始まるのが当店のやり方。初回カウンセリングでは、まずお悩みをお聞きし、次に問診を行います。こうしたやり取りの後、最後に漢方(商品)の相談をさせていただくんです」と昭佳氏。また、
相談者は紹介客が多く、開放的な店の作りもあって、不安がられることなく、積極的なカウンセリングが可能になる。これも、媒体を使ったブランディングと同時に、口コミを大切にしている、カウンセリング主体の堀江薬局ならではのアプローチ。
現在、4店舗で5名のカウンセリングスタッフが相談者の対応にあたる(うち、子宝対応は2店舗)。先述どおり、気持ちのよい空間(店づくり)を心がけることで、相談者だけでなく、働くスタッフのメンタル面も留意する。知識を要するカウンセリングのスキルアップも、月2回の勉強会、メーカーを招いての講習、本場中国への研修等、随時仕事の中に組み込むのも堀江薬局のこだわり。
「規模を大きくするよりも、信頼を大きく育てていきたい」と昭佳氏。堀江薬局のビジネススタイルは、ますます深みを増していくようだ。



(写真上) およそ漢方薬局には見えない吉祥堂(松江市和田山)の店内。シンプルで明るいデザイン等、相談者にリラックスしてもらうためのさりげない工夫が凝らされる。(写真中) コミュニケーションの占める割合の多いカウンセリング業務だけにスタッフとの連携も円滑に。「自分たちが気持ちよく仕事していることが、相談者たちにも伝わるんです」と昭佳さん。(写真下) 入口にディスプレイされた喜びの声の多さが、カウンセリングの成果の表れでもあり、モチベーションにもなる。